

○花と氣象との關係

樂 天 子

草木の花の開閉が氣象と少なからぬ關係あるは勿論にして、只に温度と光線のみならず、晴天、曇天、乾燥なども大に影響するのである、これを一定の通理より云へば、およそ花の開閉は、光線と温度の變化に感ずるの結果にして、光線が強さを増し、温度加はるときは開花し、光線が微弱となり、温度下れば閉花するものにて、彼の百花の朝に於て開くは、光線加はりて温度の上るのに因るのである、其夕に於て閉づるは、光線減じて温度の下るのに因るものなれば、花の開閉は主として光線と温度との變化に感じて、花瓣の成長に影響を來し、極めて微妙なる點に於て諸部の成長に不平均を生ぜしむるものなれば、天氣の晴雨乾燥に依て著しく花の開閉に關係を及ぼすことは免かれざるわけなのである、併しながら百花の内には、又各々特有の性ありて、この通理のごとくならず

るもの、即ち光線温度の分量如何によりて、夜間に開花し、晝間に至りて閉花するものも亦少なくないのである、外國の植物學者が研究によれば、花の開閉は一日の時刻に應じて、恰も時計をなすといへり、今其開花の時刻表なる者を得たれば、試に左に掲げて一斑を示さん。

時刻	午前	午後
一時	あさがほの一種	ピレツラム
二時	あさがほの一種	コソムサム
三時	あさがほ、カウソリ	
四時	アサカン草、野バラ	忍冬
五時	ケシノ一種、タンポポ	月見草 待宵草、
六時	亞麻、蓮、黄金草ノ一種、鬼夕ヒラコノ	ふうろさう
七時	萬葉、金盞花、アリ	オシロイ花
八時	ルリハコベ、石竹ノ一種	せんこのうの一種
九時	酢醬草、鱗形草、松葉牡丹	虎耳草、煙
十時	ウツクコ	千人掌
十二時	リノ一種イサワ種	